



インフルエンザの「予防接種」の時期が来ました

毎年1000万人発症し、そのうち重症化する人は2万人もいるというインフルエンザ。少しでもリスクを下げたい！と思われる方は、11月中に予防接種を受けることをお勧めします。

予防接種を受けるとインフルエンザに絶対かからない？

インフルエンザを完全に防ぐことはできません。また、インフルエンザ脳症の予防効果はないとの報告もあります。しかし、6歳未満でのインフルエンザの発病防止に対する有効率は60%と報告されており、発病のリスクを下げることは可能です。また、予防接種によりインフルエンザの発症を減らすことで、脳症をはじめ重症化や死亡のリスクも減らせると考えられています。



予防接種の副作用はあるの？

予防接種を受けることで、免疫がつく以外の反応を「副反応」といいます。多く見られる副反応は、接種した場所の赤み、はれ、痛み等で、接種した人のうち10～20%に起こりますが、通常2～3日でなくなります。また、まれにショックやアナフィラキシー様症状（発疹、じんましん、痒み、呼吸困難等）が見られることがあります。この症状は、接種後すぐに現れることが多いため、接種後30分は医療機関で待機するようにしましょう。

予防接種を受けるには？

いつ？

理想は11月。
遅くとも12月中旬

対象は？

生後6か月から可能
(但し、1歳以降から
を推奨)

どこで

かかりつけの
医療機関で

何回接種？

13歳以上は1回
13歳未満は2回

予防接種を受けられない人もいます

・生後6か月未満の赤ちゃん、
・明らかな発熱がある人、
・重篤な急性疾患にかかっている人、
・インフルエンザ予防接種にアレルギーがある人、
など、ほかにも様々な理由で予防接種を受けられない人がいます。このような方たちを守るためには、**周りの人が予防接種を受けたり、皆で手洗いや咳エチケットを守り、インフルエンザウイルスに暴露される機会を減らす**ことが求められます。



☆ ご予約・お問い合わせ ☆
いなみ虹保育園・病後児保育室「レインボー」
住所：兵庫県加古郡稲美町国安1256番地
TEL：079-490-2064(専用電話)
FAX：079-490-6682

* 詳しくは「いなみ虹保育園HP」「稲美町HP」をご覧ください。



編集：篠田